大津市生涯学習推進計画の概要(案)

資料 8-2

第１章　計画の策定にあたって

1-1　計画策定の趣旨

・教育基本法第３条の理念に基づき策定
・第４期大津市教育振興基本計画の理念である「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を踏まえ、策定

1-2　大津市生涯学習推進計画について

（１）計画の位置づけ

・大津市総合計画、第４期大津市教育振興基本計画（教育大綱）を上位計画とし、生涯学習に関する施策を総合的に推進するための個別計画

（２）計画の期間

・令和９年度から令和 13 年度の５年間

第２章　生涯学習を取り巻く動向、現状と課題等

2-1　国及び県の動向

＜国＞第４期教育振興基本計画（令和 5～9 年度）
　・2040 年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
　・日本社会に根差したウェルビーイングの向上
＜国＞第 12 期中央教育審議会生涯学習分科会での議論（令和 6 年 6 月）
　・「誰もが生涯を通じて意欲的に学ぶ社会の実現」を主軸に、デジタル化による誰一人取り残されない社会、社会的包摂への対応、生涯学習社会を支える社会教育人材の育成、社会人のリカレント教育、障害者の生涯学習、外国人の日本語学習について重点的に議論
＜県＞滋賀の教育大綱（第 4 期滋賀県教育振興基本計画）（R6～R10 年度）
　・基本目標：未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

2-2　大津市の現状と生涯学習を取り巻く課題等

・人口減少・少子高齢化の進行
・世帯構成の変化（単独世帯の増加）と自治会加入率の低下
・地域づくりの担い手の高齢化や後継者不足

2-3　「生涯学習に関する市民アンケート調査」結果について

・生涯学習を行った：前回45.6%→53.6%
・今後生涯学習をしたい：前回81.9%→84.5%
・学びを通して付き合いが広がった：前回55.3%→45.4%
・学びの成果を生かしている：前回60.0%→53.2%
・「学習の実感」による意識高揚から行動(活動・参画)へスムーズに移行するための支援が必要
・「公民館など市の施設での学習サービスの充実」、「インターネットを利用した幅広い学習環境の整備」、「生涯学習に関する情報の効果的な周知」などが市に求められている

2-4　現計画に基づく事業実施結果と課題

・３つの柱に基づき全104事業を実施
・数値指標：「達成」以上 68.3%、事業評価：「実施」「ほぼ実施」93.3%

第３章　計画の基本的な考え方

3-1　社会の状況などにより計画に反映すべき方向性

・平均寿命・健康寿命の伸長により、「人生100年時代」が到来。100年という長い期間をより充実したものとするため、市民がいつでも、どこでも、楽しく学ぶことができるよう多様な機会や場を提供していく。
・近年の人々のライフスタイルの多様化やグローバル化、AI・DXの急速な進展等により、社会状況の変化や技術革新が絶えず生まれ、次々と知識の入れ替えが起こっており、また、デジタル技術の発展に対して、不得手な人の情報取得や、インターネットからの膨大な情報を上手く活用する能力についての支援が必要であることなどから、時代の変化に対応した学びを支援していく。
・超高齢化と人口減少が進む中、つながりが希薄化するなど、地域コミュニティの維持と活性化が喫緊の課題の中、学びを通して住民自らが社会の担い手として主体的に関わっていくことや、学んだ成果を地域や社会で生かすようひろげていく。
・すべての市民が、自分らしく学び活動する「ウェルビーイング」の実現に向け、ニーズに応じた情報を集約するとともに、学びを支えるしくみづくりを進めていく。
・個人の学びの充実から、人と人とのつながり、地域や社会への貢献に広がることで、地域全体の「ウェルビーイング」につながり、それが循環していくまちの実現を目指していく。

第４章　施策体系

4-1　大津市における生涯学習の目標

『誰もが自分らしく学び活動する、幸せで心豊かに暮らせるまち大津の実現』

基本方針

まなぶ	ひろがる	つづける

１　生涯にわたって学びを楽しむ

施策１　市民ニーズに応じた多様な学びの提供

・人生100年を見据えた多様な学びの支援
・ライフステージに応じた学習機会の提供
・大津の歴史と伝統、文化や文学に触れる学習機会の提供

施策２　社会で生きる力を育む学びの提供

・地域課題や社会へ関心を持つ学習機会の提供
・人権学習及び啓発の推進
・社会人の学び直しの推進

２　自らの学びからみんなの学びへ

施策１　学習成果の活用の場づくりの推進

・学習成果の発表の機会の提供
・学習成果を生かして活動する市民への支援
・学びを活かした地域貢献・社会参画の促進

施策２　学びを通じたつながりづくりの推進

・地域による自主的な活動の支援
・多様な主体との連携・協働の推進

施策３　社会の担い手や学習を支援する人材の育成

・地域づくりに主体的に取り組む人材の育成
・ボランティアや学習支援者の育成
・公民館、コミュニティセンターのコーディネート機能の充実

３　学び続けられるしくみづくり

施策１　社会教育事業の推進

・公民館、コミュニティセンター等における主体的な学びの推進
・社会教育に関する施策の推進
・多様な主体の学習環境の充実

施策２　多様な学びを支える体制の整備

・地域団体、社会教育関係団体等の活動推進
・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進
・学びの継続のための教育相談や支援

施策３　多様な手段による学習情報の発信

・ＳＮＳ等の電子媒体を用いた情報の発信
・ＩＣＴを活用した学びの場の提供
・幅広い媒体による継続的な情報発信

第５章　計画の推進

（１）生涯学習の推進について
（２）進捗管理について

第６章　成果指標

・1 年くらいの間に「生涯学習」を行った人の割合
・学びを通して地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じている人の割合
・学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を生かしている人の割合
・大津市が生涯にわたり学び続けられる環境だと思う人の割合